

ブロンクス物語／愛につつまれた街（1993）

A BRONX TALE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 121分

初公開日 1994/08/20

公開情報 東宝＝TOKYOFM＝I & S＝ヒューマックス＝ギャガ提供／ヒューマックス＝ギャガ

映倫 PG12

【解説】

デ・ニーロ、まずは見事な監督デビューを果たした。主役であるC・パルミンテリーのオフ・ブロードウェイで大評判をとった舞台作品（一人芝居）を気にいった彼はパルミンテリに脚本を依頼。プロダクション・デザイナーのW・トーマスと共に綿密な下準備の後、クィーンズのアストリアに60年代のブロンクスを再現。9歳の頃、街の顔役の殺しをかばう偽証をしたことで一目置かれ、闇の世界への憧れを強く抱える青春を送る少年が、黒人少女に恋をし、彼らとの抗争の中で葛藤して、より人間的な生き方に目覚めていく姿を、ジャズやR&Bのスタンダードを絶妙に配して、伸びやかに綴っている。ハードな部分もあるが、おとぎ話的な調子が良く出、少年が「くしゃみをして“お大事に”と言ってくれる女こそ理想の相手」という顔役の言葉を少女の前で実践してみせる所なんか実におかしい。表向きは包容力のあるように見えて、芯は孤独で冷酷なパルミンテリーの顔役。出番は少ないが、実直なバスの運転手の、少年の父デ・ニーロ、彼が海水浴場でスカウトしたという、9歳の少年を演じるF・キャプラ、17歳の少年の、デ・ニーロに瓜二つのR・ブランカトー。役者たちはみな素晴らしい仕事をした。

【クレジット】

監督	ロバート・デ・ニーロ	Robert De Niro
製作	ジェーン・ローゼンタール	Jane Rosenthal
	ジョン・キリク	Jon Kilik
	ロバート・デ・ニーロ	Robert De Niro
製作総指揮	ピーター・ガーティエン	
脚本	チャズ・パルミンテリ	Chazz Palminteri
撮影	レイナルド・ヴィラロボス	Reynaldo Villalobos
音楽	ブッチ・キンボール	
出演	ロバート・デ・ニーロ	Robert De Niro
	チャズ・パルミンテリ	Chazz Palminteri
	リロ・ブランカトー	Lillo Brancato
	フランシス・キャプラ	Francis Capra
	タラル・ヒックス	
	キャスリン・ナルドゥッチ	Kathrine Narducci
	クレム・カセルタ	
	ジョー・ペシ	Joe Pesci
	アルフレッド・ソーチェリ・Jr	Alfred Sauchelli Jr.